

岐阜労働局発表
平成30年3月1日（木）

【紹介先】

岐阜労働局職業安定部職業対策課
課長 武藤俊逸
地方障害者雇用担当官 瀬瀬高幸
(電話) 058-245-1314

岐阜労働局長が精神障害者多数雇用企業を訪問

岐阜労働局は、本年2月・3月の「精神障害者雇用促進キャンペーン」の取組として、2月22日（木）に岐阜労働局長（稲原俊浩）が精神障害者の雇用に積極的に取り組んでいる企業として株式会社セリア（大垣市外渕2丁目38番地）を訪問し、小林取締役経営企画室長らと意見交換を行った結果を取りまとめましたので公表します。

【職場訪問の概要】

- 最初に、稲原局長からキャンペーンの趣旨について説明し、企業側が精神障害者雇用を進めるための取組や工夫等を紹介、意見交換を行いました。
企業からは、精神障害者について、以前は主に本社倉庫内で閉店店舗の商品仕分け作業を担当してもらっていたが、全国展開している各店舗においても精神障害者の雇用を推進するため、各地のハローワーク、障害者職業センター及び障害者就業・生活支援センター等の支援機関の協力のもと、職域の拡大や障害者を雇用している店舗での事例を他店舗に紹介する取組等を進めた結果、法定雇用率を超える割合の障害者を雇用できたとの説明がありました。
- その後、稲原局長は、障害者の方々の就労現場（閉店店舗から引き上げた商品の仕分け・再出荷作業）を見学し、企業担当者から障害者の方個々の障害特性に配慮した雇用管理について説明を受けました。
- 最後に、稲原局長から「障害者の就労意欲は高まっており、企業における取組事例を広く県内企業に伝え、行政も能動的に動いて企業における障害者雇用の後押しをしたい。」と激励し、職場訪問を終えました。



稲原局長と企業側との意見交換



企業担当者から説明を受ける稲原局長